

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	226	3年	後期	看護学科	必修	母性看護学実習 Clinical Practice in Maternity Nursing	90	2
担当教員								
中越 利佳	瀧本 千紗							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
周産期にある対象を理解し、母子とその家族への看護を行うための基礎的な能力と態度を養うとともに、その実践を通して、リプロダクティブヘルス/ライツの視点から母性看護を理解することができる。								
到達目標（授業目標）								
1. 妊婦の身体的、心理的、社会的特徴を理解し、妊娠各期における看護の必要性を説明することができる。								
2. 産婦の身体的、心理的特徴を理解し、分娩各期における看護の必要性を理解することができる。								
3. 褥婦と新生児の身体的、心理的、社会的特徴を理解し、産褥期における看護の実際を理解することができる。								
4. 周産期病棟の機能と特殊性について説明することができる。								
5. 母子保健に関する医療チームや他の専門職との連携の必要性について説明することができる。								
6. 女性のライフサイクル各期における身体的、心理的、社会的特徴や女性生殖器疾患の理解を深め、看護の必要性を理解することができる。								
7. 母性看護における看護者の役割と責任について説明することができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	<p>1. 実習場所：  愛媛県立中央病院：総合周産期母子医療センター  愛媛大学医学部附属病院：周産母子センター・産婦人科外来  つばきウイメンズクリニック  まつやま助産院</p> <p>2. 実習期間：2週間 時間：8:00-16:00（状況により変更）</p> <p>3. 実習展開：詳細は実習要綱を参照</p>									
	成績評価方法及び基準									
実習評価表（100点）の項目について、実習内容および到達度、実習態度を点数化し評価する。60点以上を合格とする。										
教科書	<p>1. 森恵美・高橋真理・工藤美子「系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学(2)」(医学書院)</p> <p>2. 横尾京子・中込さと子「ナースング・グラフィカ 母性看護学③母性看護技術」(メディカ出版)</p> <p>3. 太田操「ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程」(医歯薬出版)</p>									
参考図書等	<p>1. 井上裕美・竹内正人「病気がみえる10 産科」(メディックメディア)</p> <p>2. 佐世正勝・石村由利子「ウエルネスからみた母性看護過程」(医学書院)</p>									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
自己学習ノートを完成させ、沐浴等母性看護に必要な技術練習を積んで実習に臨むこと。 看護過程の演習を復習して実習に臨むこと。										
関連科目										
前科目	158	臨床病態学Ⅲ	223	母性看護対象論	224	母性看護方法論Ⅰ	225	母性看護方法論Ⅱ	241	看護アセスメントⅡ
後科目	249	総合実習	242	看護アセスメントⅢ						
実務家教員										
助産師（医療機関）	中越 利佳		瀧本 千紗							
備考	方法論・看護過程の演習記録を持参すること。									